JTC7040C / JTC7001C
油圧ジャッキ・ポンプ 取扱説明書

● ご使用になる前に・・・

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品をご使用になる前に、下記の注意事項・使用方法をよく読み、正しくご使用下さい。

※ エアー抜き作業を行って下さい。

油圧ポンプにエアーが混入している状態では、油圧ラムが正常に作動しない場合があります。
ご使用前に必ずエアー抜き作業を行い、余分なエアーを排出させて下さい。（別紙参照）

【使用方法】

① 油圧ポンプホース及び油圧ラムのカプラーについている防塵用キャップを取り外し、油圧ポンプホースと油圧ラムを接続します。
② 油圧ラムに作業状況にあったアタッチメント等を取り付け、油圧ポンプのリリースバルブを締め、ハンドルを上下することにより圧力をかけていきます。圧力をかける際は、ゆっくり慎重に行って下さい。
③ 作業が終了したら、リリースバルブをゆっくり緩め圧力を抜きます。

⚠ 注意事項

・塗装等、呼吸器系統に影響がある作業を行う場合は必ず、防塵マスクを着用して下さい。
・サイズの極端に大きい衣服、ズボン等、巻き込みの恐れがある衣服や作業服は着用しないで下さい。必ず体に会った作業服を着用して下さい。又、長髪の人は髪が巻きこまれないように注意して下さい。
・使用する工具の説明書をよく読み、注意事項を守って作業して下さい。
・作業前に、各部に傷、損傷、錆等が無いかよく確認して下さい。
・可動部、回転部分には、作業前もしくは定期的にグリスの塗布、注油を行って下さい。
・誤った使用方法により商品が破損、人体への損傷、物品等の損害が生じた場合、一切の保証、並びに責務は無効となります。
・本来の目的以外には、使用しないで下さい。
・使用前・使用後に異常を感じたら、速やかに使用を中止して下さい。
・改造等は行わないで下さい。
・この商品での規定外の使用による機器の破損や、怪我等に関しましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
・ご使用の際は、保護具を身に着けて下さい。
・使用する工具の説明書をよく読み、注意事項を守って下さい。
・油圧ラムの最大荷重能力を超える作業は、行わないで下さい。
・油圧ラムを最大ストローク以上伸ばさないで下さい。
・油圧ホースの破損を防ぐ為、屋外等に放置することは止めて下さい。又、ホースに物を落としたり、ねじれを加えることも破損原因になりますので、十分注意して使用して下さい。
・必ず作業状況に合ったアタッチメントを使用して下さい。
・油圧ラム使用時は、真直ぐ中心に荷重が掛かる様、設置して下さい。やむを得ず中心からずれて使用する場合は、ゆっくり慎重に作業を行って下さい。
・油圧の圧力を抜く際は、ゆっくり慎重に行って下さい。一気に油圧の圧力を抜くと、大変危険です。
・使用後は必ず油圧ホース、油圧ラムのカプラーに防塵用キャップを取り付けて保管して下さい。
・保管する際は必ず、リリースバルブを開いた状態で保管して下さい。
・本製品をご使用する際は、作業手順を熟知してからご使用下さい。
・本書で説明している各作業方法、基準値は、一般的な作業手順となります。必ず使用する車輌の整備マニュアル書をよく読み、整備マニュアル書の作業手順に従って作業を行って下さい。
・本製品は、使用方法（角度を付けて使用した場合等）によっては、油圧ポンプにエアーが混入する場合がありますので、使用毎に必ずエアー抜き作業を行ってから使用して下さい。

輸入販売元
有限会社ラグナ
山口県周南市大字久米 3076-3
TEL　0834-36-1300
FAX　0834-36-0550

油圧ポンプのエアー抜きの方法
及びオイル量に付きまして

油圧ポンプのエアー抜きの方法

図 1

図 2

図 3

図 4

図 5

1. ポンプとラムを接続します。
   ポンプでシリンダーを一杯まで伸ばしてください。(図 1)
   (オイル漏れが無い事を確認してください。)
2. ポンプのホース側が下になるように傾けてください。(図 2)
   この状態を保持してオイル注入口の 14mm のボルトを
   ゆっくりと緩めてください。(図 3、図 4)
   注意：この時にエアーとオイルが出る場合があります。
   ウエスを用意してください。
3. 油圧ラムは逆さに向けて下さい。(図 5)
4. ポンプのバルブを左に回しシリンダーを
   押し下げてください。
   注意：この時にエアーとオイルが出る場合があります。
   ウエスを用意してください。

上記作業を２～３回繰り返してエアー抜きをしてください。
※エアーが抜けない時はオイル量を確認してください。
エア抜き作業が終わりましたらオイル注入口の 14mm の
ボルトを閉めてください。

オイル量の点検補充

図 6

図 7

図 8

図 9

1. ポンプを垂直に立てます。
   オイル注入口の 14mm のボルトをゆっくりと緩めてください。(図 3、図 4)
   オイルゲージを抜き取りオイル量を確認してください。(図 7、図 8)
   図８のゲージ先端の範囲内よりオイルが少ない場合はオイルを補充してください。(図９)
   使用オイル：作動油　ISO　VG32
   オイル量：JTC7040C　約 440ml / JTC7001C　約 630ml